



# 2021年1月期 第1四半期 決算説明資料

ベステラ株式会社  
東証第一部(証券コード:1433)

# 決算のポイント

## 売上高

**901**百万円

- 売上高は対前年212百万円(19.1%)減
- 第1四半期会計期間に完成する工事は減少したが、当会計期間に大型工事が着工

## 営業利益

**15**百万円

- 営業利益は、前年に大型工事の完成があったため、対前年115百万円(88.4%)減
- 売上総利益率は、19.4%(前年同期24.0%)

## 受注残高

**1,557**百万円

- 受注残高は、大型工事の受注に支えられ、堅調に推移。対前年550百万円(54.7%)増
- 受注見込みの案件は増加傾向

## 業績予想

新型コロナウイルスの  
影響

- 連結業績予想を一旦取り下げ、未定とする。合理的な算定が可能となった時点で改めて公表
- 受注および着工時期の遅れが懸念されるが、中長期的な解体需要の増加も見込まれ、新たな事業環境を見越した取り組みを進める

# 損益計算書: 第1四半期(2021年1月期)

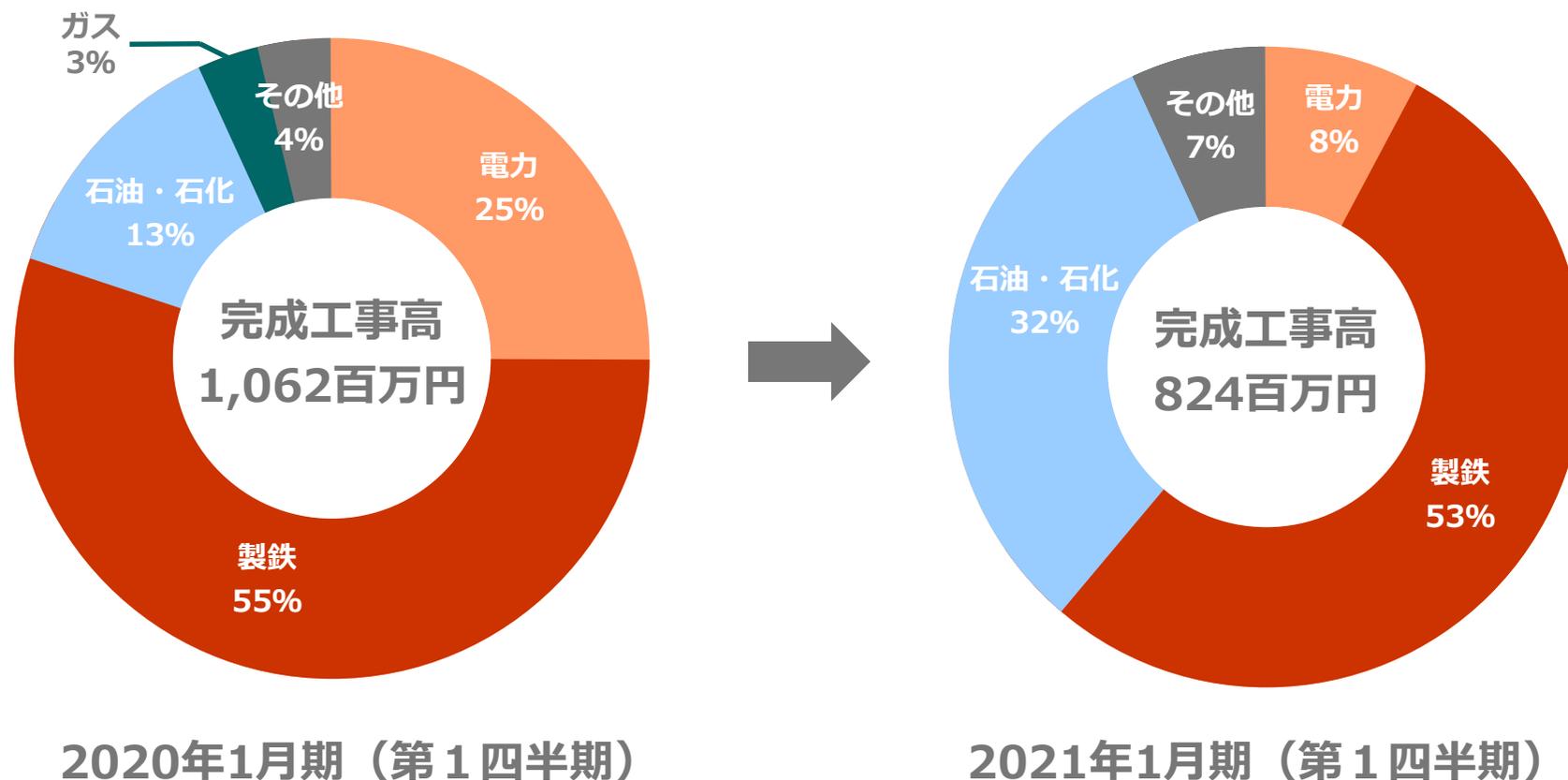
売上高は前年同期比19.1%の減収となりました。営業利益は、売上高減少の影響により、前年同期比88.4%の減益となりました。

単位: 百万円

	2021年1月期 第1四半期	対売上高 比率	前年同期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	901	—	1,114	▲212	▲19.1%
売上総利益	175	19.4%	267	▲92	▲34.5%
販売費及び 一般管理費	160	17.8%	136	23	17.1%
営業利益	15	1.7%	130	▲115	▲88.4%
経常利益	16	1.8%	130	▲114	▲87.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5	0.7%	86	▲80	▲93.1%

# 業界別 完成工事高構成比率

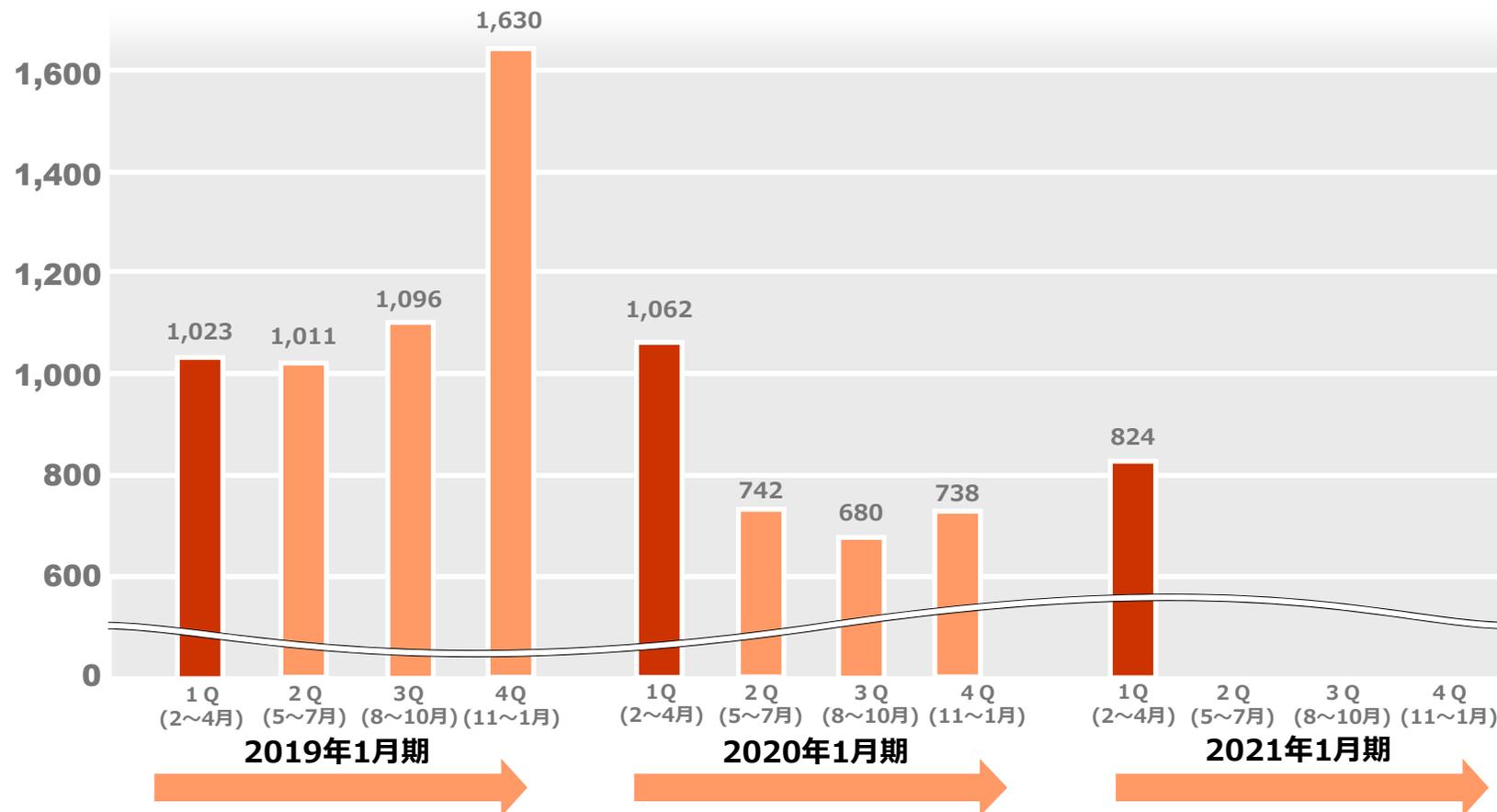
2020年1月期第1四半期は、前年に引き続き製鉄所の工事を多く施工しておりますが、大型の化学メーカーの工事が着工したことにより、石油化学の比率が高くなっております。



# 完成工事高の推移について

当社の完成工事高は、顧客(施主)の設備投資計画に応じた季節性があります。当社においては、第4四半期会計期間に計上される割合が高くなる傾向があります。

単位: 百万円



## 販売費及び一般管理費：第1四半期(2021年1月期)

販管費は、中長期的に増加傾向である解体工事に備え、人員採用を積極的に行ったことから人件費および採用費が増加しております。新型コロナウイルスによる影響を慎重に見極めながら、経費の合理化を図ってまいります。

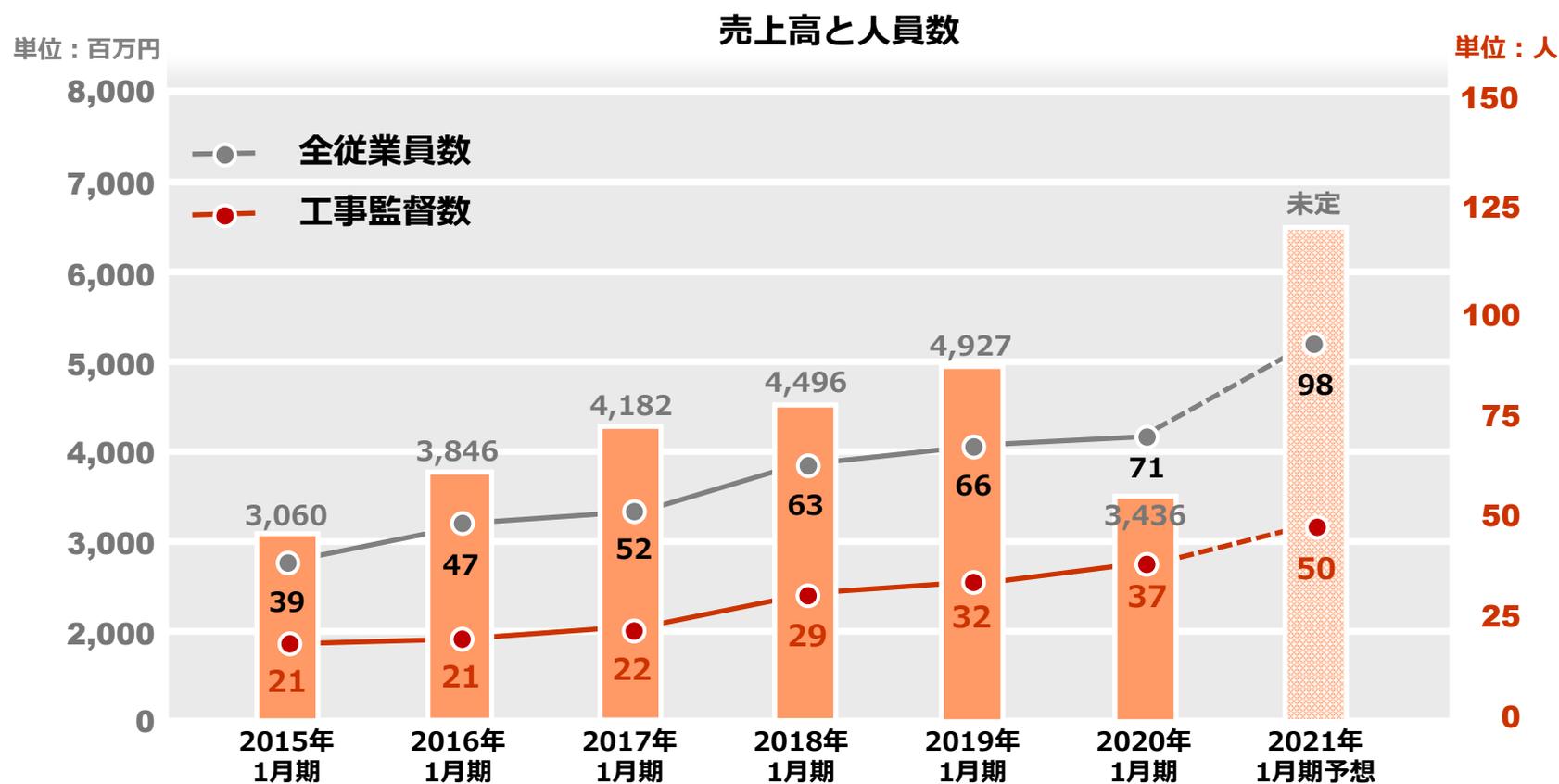
単位：百万円

	2021年1月期 第1四半期	前年同期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	主な増減要因
人件費	85	61	24	39.2%	人員増および賞与引当金の新規計上
研究開発費	—	6	▲6	—%	ロボット開発費減少
支払手数料 支払報酬	18	19	▲0	▲4.3%	基幹システム改良
採用費	10	2	7	257.6%	広告媒体、紹介手数料等
広告宣伝費	1	2	▲0	▲39.3%	展示会減少
その他	44	45	▲0	▲0.9%	
合計	160	136	23	17.1%	

# 人員計画の進捗

中期経営計画の人員計画に基づき下記の人員計画を作成しております。

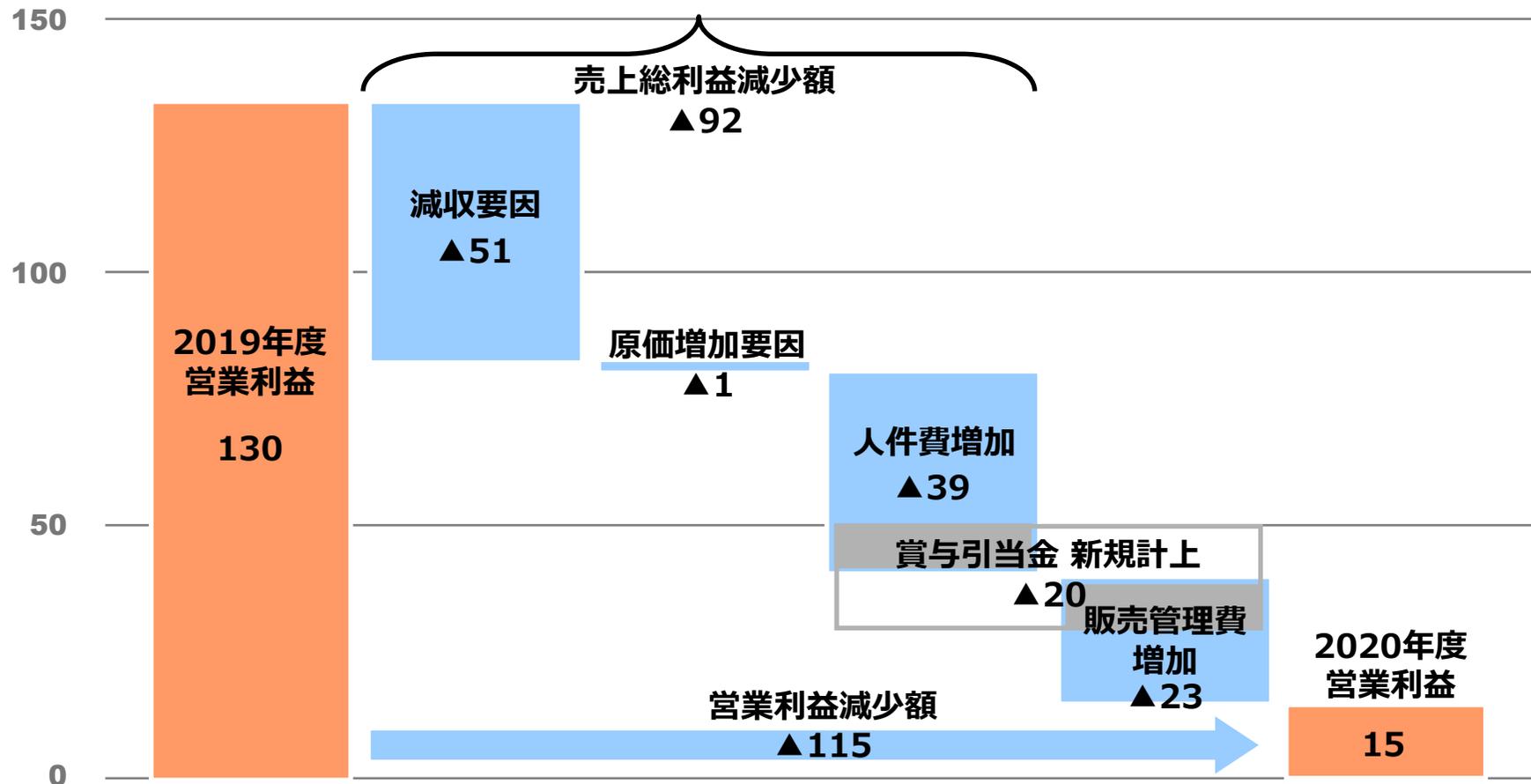
工事監督数は、期首から4名増の41名となっております。



# 営業利益の増減要因分析：第1四半期（2021年1月期）

前年に大型工事の完成があり、売上高が減少しました。また、従来期末に一括計上していた賞与について、四半期毎の利益平準化を図るために今期より賞与引当金を計上しました。これらの要因により、営業利益は前年同期比で115百万円減となりました。

単位：百万円



# 貸借対照表：第1四半期(2021年1月期)

単位：百万円

	2021年1月期 第1四半期	前事業年度末	増減額	主な増減要因
流動資産	2,897	1,965	932	運転資金の増加と未成工事の増加によるもの
(うち現金預金)	(1,431)	(938)	(492)	
固定資産	2,290	2,975	▲685	投資有価証券の評価替えによるもの
流動負債	937	770	166	工事増加による短期の未払金増加によるもの
固定負債	2,525	1,629	895	長期借入金の増加によるもの
純資産	1,725	2,540	▲815	投資有価証券の評価替えによるもの
総資産	5,188	4,941	247	

## 受注状況：第1四半期(2021年1月期)

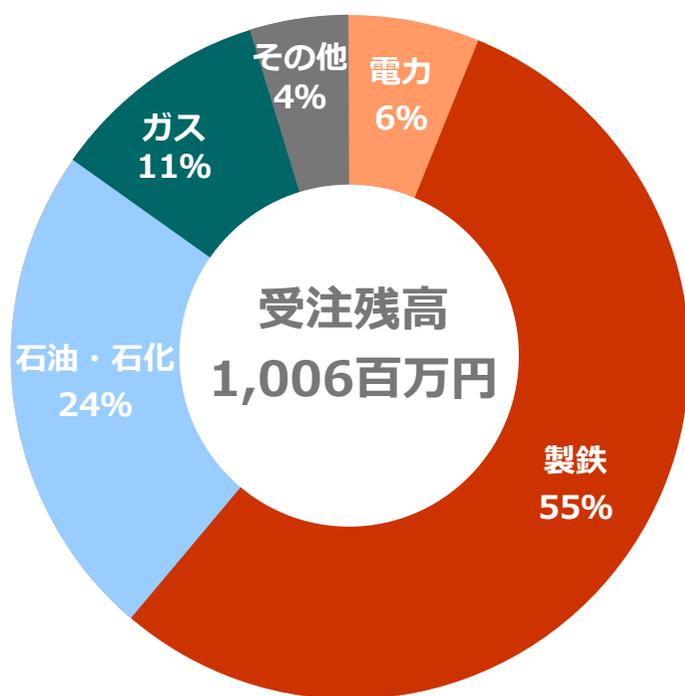
受注残高は、大型工事の受注に支えられ、堅調に推移しております。受注見込みの案件は多く控えておりますが、新型コロナウイルスの影響により、受注時期は不透明な状況となっております。

単位: 百万円

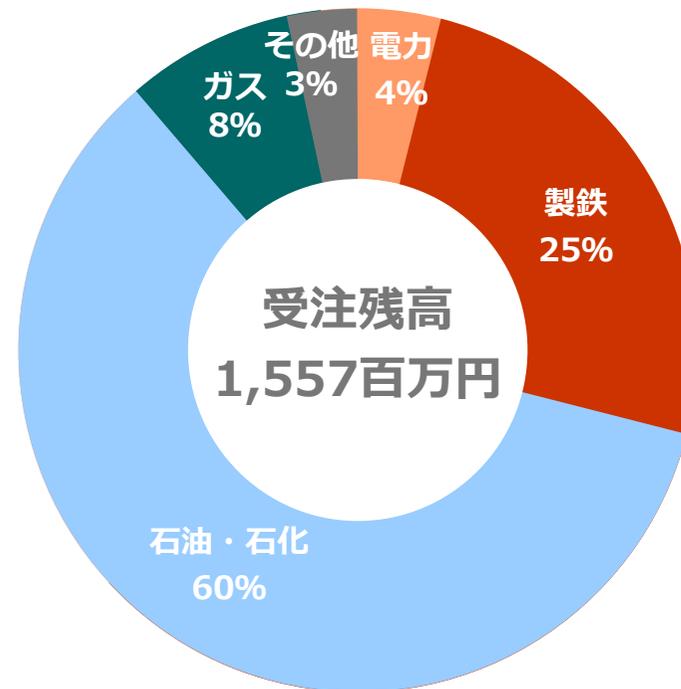
	2021年1月期 第1四半期	前年同期	増減額	増減率
期首繰越工事高	1,046	1,021	25	2.5%
受注工事高	1,334	1,046	287	27.5%
完成工事高	824	1,062	▲238	▲22.4%
期末繰越工事高 (受注残高)	1,557	1,006	550	54.7%

## 業界別 受注残高構成比率

前年は、京浜事務所の新設や西日本地区の営業力強化により、製鉄の比率が高くなっておりました。今期は大型の化学プラントの受注により、化学業界の比率が高くなっております。



2020年1月期（第1四半期）



2021年1月期（第1四半期）

# 新型コロナウイルスの業績への影響と今後について①

2021年1月期の連結業績予想を一旦取り下げ、未定といたします。今後の動向を注視し、合理的な算定が可能となった時点で改めて公表いたします。

## 未定の理由

- 様々な産業で余剰設備の増加が続いており、解体需要の増加が見込まれますが、感染症対策により、一時的な営業活動の停滞もあり、改めて業績予想を策定予定であります。
- 外出自粛による経済活動の停滞の影響で、商談の遅れや、着工までの検討期間が長期化するおそれがあります。
- 新型コロナウイルス感染症の終息時期は不透明な状況であり、今後の動向を注視する必要があります。

## 業績への影響

- 現時点で着工中の工事に中断等は発生しておりません。
- 新規受注および工事着工時期の遅れや件数の減少が懸念されます。
- 人員採用の遅れ等、成長投資を十分に行えない可能性があります。

## 新型コロナウイルスの業績への影響と今後について②

短期的には業績への悪影響が懸念されますが、中長期的には様々な産業で余剰設備の増加が続き、解体需要の増加が見込まれます。事業環境の変化に柔軟に対応し、感染症終息後に向けた取り組みを進めてまいります。

### 感染症終息後に想定される事業環境の変化

- 消費行動、価値観の変化による産業構造の変化、設備の刷新
- リモートワークの浸透による働き方の変化、業務の合理化

#### 対策、今後の取り組み

- ・顧客との長期的な関係強化
- ・元請工事の比率の増加
- ・営業組織体制の再構築
- ・革新的な解体技術、特許の開発
- ・事業拠点の早期拡充
- ・テレワーク等に対応した事業活動の推進
- ・安心して働ける仕組みづくりの強化
- ・M&A戦略の推進

持続的な成長への基盤づくりを進める

# 本資料についてのご留意事項

---

- 本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている将来の予測等は現時点で入手された情報に基づくものであり、市況、競合状況等、多くの不確実な要因を受けます。
- 本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願いいたします。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。
- 本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。

ベステラ株式会社



Copyright © BESTERRA CO., LTD All rights reserved.

